

# NSC だより

## ☆NSC活動、一年を締めくくる！

6月25日に設立発足しました「中原セーフコミュニティ推進協議会（NSC）」の『区民が安全・安心に暮らせる地域づくり』を願って展開してきた活動も、初年度の活動を締めくくることができました。役員の方々の献身的な取り組み、区民の皆様のご理解の賜物と感謝申し上げます。

次年度に、皆さんの力でつなげていっていただくことを願い、この一年の総括をお知らせします。

### 事務局

会長・事務局長・事務局長補佐・区会（区長代理・社協担当区会議員）に、3名の対策委員長を加えて全8名で担当してきました。

#### ○NSC、初年度の方角を見出す

「安全・安心に暮らすことができるまち（区）づくり」を願い、どう取り組みを展開して行ったらよいか、考え合ってきました。具体的には、各対策委員会の皆さんに活動をお願いしたわけですが、事務局はその基本を考え合う場となっていました。

#### ○活動を、広報「NSCだより」で区の方々に

発行回数は、わずかなものでしたが、NSCの活動を区民の方々に「NSCだより」を通して、随時お知らせして参りました。十分にご理解をいただくまでには至らなかったことと思いますが、NSCの活動に協力的に係わってくださった方々に感謝申し上げます。

#### ○次年度も、より安全・安心な区づくりを願って

今年度の取り組みの反省の上に立って、活動の継続・発展の方角を事務局として真摯に向き合い、考え合っていこうと思っています。

### 交通安全対策委員会

#### ○区内の危険箇所への対処

区民の方々にもご協力いただいて調べた危険箇所マップづくりを中心に、安全への啓発を行ってきました。公民館の一角に掲示しましたマップを、来館の折にはぜひご覧ください。

皆さんにご協力いただき調査に基づき、危険箇所への対処として標識やカーブミラーの設置申請も区を通じて町へお願いしました。

#### ○交通安全への意識の高揚と見守り

児童・生徒・高齢者や障がい者の交通安全を願い取り組んできました。「反射タスキ」・「飛出し注意標識」の斡旋配付を行いました。反射タスキの普及はまだ十分とは言えないかもしれません。その効果を認識していただき、さらに多くの方に活用を呼びかけていきたいと考えています。

また、見守りという面では児童・生徒の見守りの輪をさらに広げていきたいと思っております。ご協力をお願いします。



### 暮らしの安全対策委員会

#### ○救急医療情報キット設置（命のカプセル運動）の推進

救急医療情報キットは、万一の時に備え、救急医療情報（持病・服用薬・かかりつけ医・緊急時連絡先等記入）を容器に入れ決められた場所（冷蔵庫壁面）に保管しておき、病気やけがで倒れた場合、救急隊員や発見者がその情報から迅速・的確な救護対応に役立てていくためのものです。このことについては、前号で触れました。



このキットの活用が、さらに広まっていくことを願っています。

○困りごとアンケートを基に、支えあいを！

区民の皆様、「困りごとアンケート（中原区住民アンケート）」でご協力いただき、それを基に個々の方々の願いや希望をくみ取り、ゴミだし・雪かきについて、要支援者への支援体制をつくりました。支援の輪が区内に位置づき、広まっていくことを願っています。

区民の皆様、「困りごとアンケート（中原区住民アンケート）」でご協力いただき、それを基に個々の方々の願いや希望をくみ取り、ゴミだし・雪かきについて、要支援者への支援体制をつくりました。支援の輪が区内に位置づき、広まっていくことを願っています。

### 災害等緊急時対策委員会

#### ○防災への備え

・防災倉庫の防災資機材の確認と使用法の理解。・防災消耗品の点検と補充（保存水）。・新たな防災備品（リヤカー）の整備。・防災訓練での車椅子を使った要支援者の避難支援訓練の実施。

上記のような取り組み等を通して、災害時への対応に備えてきました。

#### ○災害等住民支えあいマップの更新

今年度より、標記の更新が区社協よりこの委員会に移管し取り組みました。NSC発足後からの取り組みで、慌ただしい活動となってしまいましたが、区民の皆さんにはご協力いただきありがとうございました。

この支えあいマップの運用のあり方を今後検討し、その運用訓練を行い、災害等緊急時に備えていく必要があると考えています。



### NSC、反省・慰労会で一年を総括し、次年度へつなぐ！

去る24日（金）、標記の会が開かれ、活動初年度の締めくくりがなされ、平成29年度の活動へとつなげる会となりました。会では、事務局と3つの対策委員会が一年間を総括し、次年度への展望を開きました。また、この一年間陰に陽に渡ってサポートしてくださった町福祉課の鈴木さん、町社協の緑川さん・林さんからも、一年を通してのお話をいただきました。「未来を考える会・NSC・地区社協等が連動して活動の具体化が図られている。今年度から新年度への役員の切替は、また新たな区民が『安全・安心に暮らせる地域づくり』に係わっていただけるつながりと捉えたい」「お互い様の地域づくりを！2年目は初年度の上に立って活動の定着を！」



…。

間もなく新しい年度がスタートします。区民の皆様  
の協働の力で、区の将来像のキャッチフレーズ「やさ  
しさが、みんなを家族にできる里 中原」に一歩で二歩でも近づける歩みを願って！